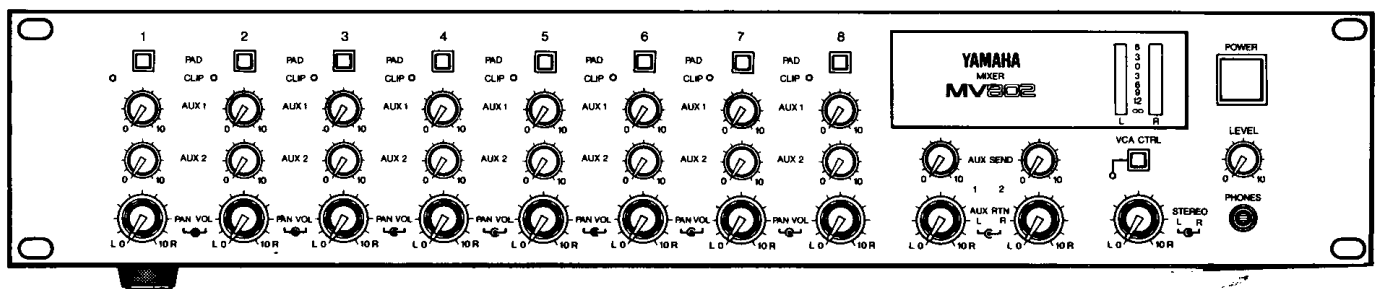


YAMAHA MIXER

MV802

取扱説明書



このたびは、YAMAHA ミキサーMV802をお買い求め
いただきまして、誠にありがとうございます。
MV802の性能をフルに発揮させると共に、いつまで
も支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの
説明書をよくお読みいただきますよう、よろしくお
願いいたします。

特 長

- 8種類ものサウンドソースを入力でき、ステレオの状態にミキシングして出力することができます。
- チャンネル1およびチャンネル2にはINPUT 切換スイッチがあり、マイクロホンも接続可能です。
- 1イン/2アウトのエフェクターに対応するAUXセンド/リターンジャックを、2系統装備しています。
- チャンネルの増設に便利なSUB IN/OUTジャックを装備しており、スイッチの切り換えにより、SUB IN端子にするかSUB OUT端子にするか、選択できます。
- マスターボリュームを、外部フットコントローラーでVCAコントロールできます。
- STEREO OUT端子には、平衡出力のXLRタイプコネクタと、不平衡出力のホンジャックの2種類があります。
- CLIPインジケータとレベルメーターを装備しており、入出力レベルの監視に便利です。
- ミキシングした信号を、ステレオヘッドホンでモニターできます。

目 次

ご使用前に.....	2
フロントパネル.....	3
リアパネル.....	5
セットアップ例.....	7
ブロック&レベルダイアグラム.....	8
仕様.....	9
寸法図.....	10
サービスについて	

ご使用の前に

設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
- 温度の特に低い場所。
- 湿気やホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。

無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

電源コードを大切に

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。外出などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

◎本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外(例えば200V)の電源には絶対に接続しないでください。

セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。

接続について

接続は、各機器の電源スイッチをOFFにしてから行なうか、または各ボリュームを絞ってから行なってください。

XLRタイプコネクタについて

本機のXLRタイプコネクタはDIN規格にもとづき配線されており、1番シールド(アース)、2番ホット、3番コールドの接続形式です。

ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造したりしないようにしてください。

外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

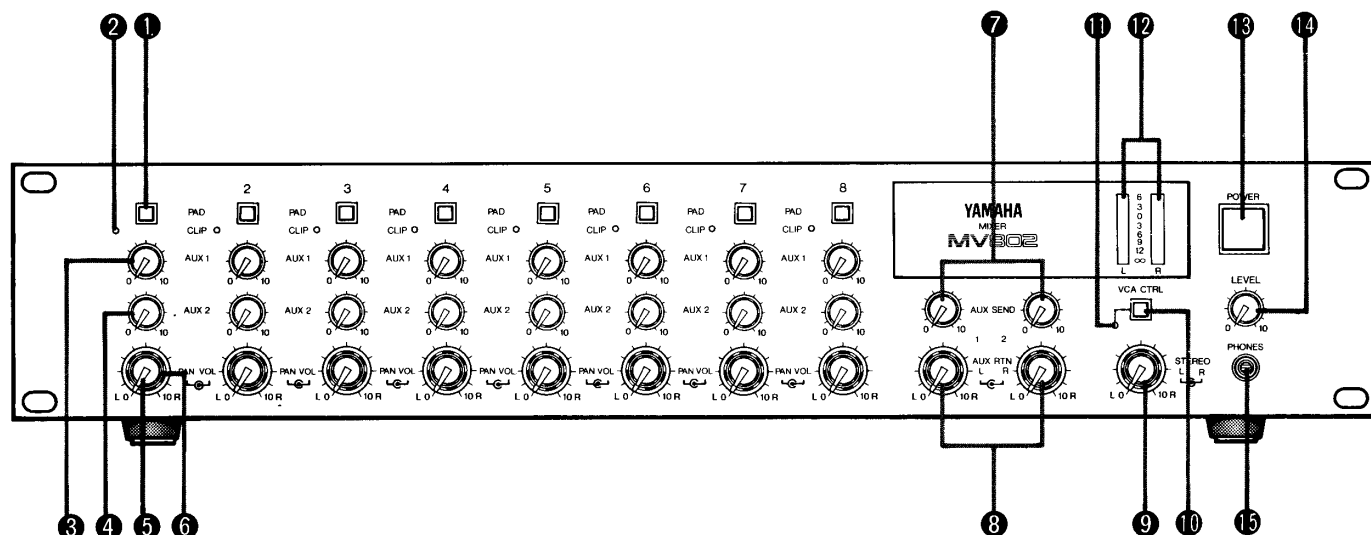
保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意くださいようお願いいたします。

保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

フロントパネル



マイクロホン、LINE/MIC 切換スイッチ⑬を装備しているチャンネル1および2へ接続してください。(LINE/MIC 切換スイッチはリアパネルにあります。)

① PAD スイッチ

リアパネルのINPUTジャック⑬より入力した信号の入力レベルを、20dB減衰(マイク入力した場合は7dB減衰)させるためのスイッチです。スイッチ“■”状態がON(減衰)状態、“□”状態がOFF状態です。

② CLIP インジケータ

リアパネルのINPUTジャック⑬より入力した信号の入力レベルが、クリッピングレベルの3dB手前に達したとき、点灯します。このインジケータが頻繁に点灯する場合は、INPUTジャックに接続した機器の出力ボリュームを下げるか、本機のPADスイッチ①をONにしてください。

③ AUX 1 コントロール

本機リアパネルのAUX SEND 1 ジャック⑬に、リバーブマシンやディレイマシンなど、エフェクターを接続した場合に操作します。そのエフェクターで効果をかけるチャンネルのつまみをまわしてください。右にまわすほど、エフェクターへの送り出しレベルが上がります。チャンネルごとに設定してください。

※AUX 1 コントロールのつまみは⑤のチャンネルVOLコントロールの前に設けられているため、チャンネルVOLコントロールを動かしても、エフェクターへの送り出しレベルは変わりません。

④ AUX 2 コントロール

本機リアパネルのAUX SEND 2 ジャック⑭に、リバーブマシンやディレイマシンなど、エフェクターを接続した場合に操作します。そのエフェクターで効果をかけるチャンネルのつまみをまわしてください。右にまわすほど、エフェクターへの送り出しレベルが上がります。チャンネルごとに設定してください。

※AUX 2 コントロールのつまみは⑤のチャンネルVOLコントロールの後に設けられているため、チャンネルVOLコントロールを動かすと、エフェクターへの送り出しレベルもかわります。

⑤ チャンネルVOL コントロール

各楽器の音の大きさを決めるためのつまみです。楽器ごとに設定し、楽器間のバランスをとってください。

※使用していないチャンネルは、つまみを0の位置にしておいてください。

⑥ PAN (パンポット)

各チャンネルのチャンネルVOLコントロール⑤でレベル調整した各楽器の信号を、STEREO L, Rに振り分けるためのつまみで、各楽器の音像を、L-R間のどのあたりに定位させるのか、決めることができます。右にまわすと音像が右へ、左にまわすと左へ移動します。

⑦ AUX SEND コントロール

各チャンネルのAUX 1 コントロール③およびAUX 2 コントロール④でレベル調整した信号を、それぞれ最終的にまとめてレベル調整し、AUX SENDジャック⑬に接続したそれぞれのエフェクターへ送り出すつまみです。(AUX 1 とAUX 2 別々に調整できます。)

⑧AUX RTNコントロール

AUX RETURNジャック⑩に接続したエフェクターからの入力レベルを、調整するためのつまみです。このつまみでレベル調整したエフェクト信号は、各チャンネルの信号とミックスされます。

⑨STEREOマスターコントロール

チャンネルVOLコントロール⑤でレベル調整した各チャンネルの信号と、AUX RTNコントロール⑧でレベル調整したエフェクターからの信号を、最終的にまとめてレベル調整し、リアパネルのSTEREO OUTジャック/コネクタ⑬へ送り出すつまみです。

⑩VCA CTRLスイッチ

リアパネルのVCA FOOT VOL.ジャック⑫にフットコントローラーFC7を接続し、足もとでSTEREO OUTジャックへの出力レベルをコントロールする場合には、このスイッチをONにします。

⑪VCA CTRLインジケータ

VCA CTRLスイッチ⑩をONにすると、このインジケータが点灯します。

⑫レベルメーター

STEREO OUTへの出力レベルを表示するVUメーターです。このメーターを見ながら、STEREOマスターコントロール⑨を調整してください。

0 VUのLEDが点灯した時が、規定出力レベル(+4 dB)で出力された時です。

⑬POWERスイッチ

電源スイッチです。ONにすると、レベルメーター⑫の“∞”が点灯します。

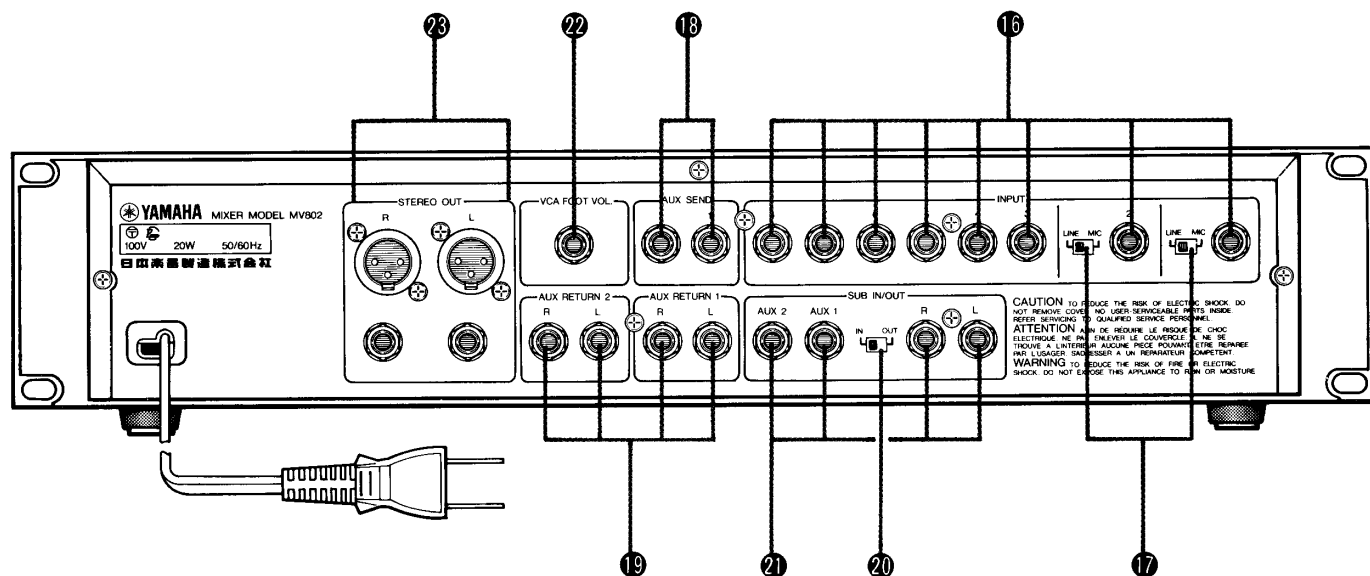
⑭PHONES LEVELコントロール

PHONESジャック⑮への出力レベルを調整するためのつまみです。

⑮PHONESジャック

STEREO OUTジャック/コネクタ⑬に出力される信号と同じものを出力するジャックです。8 Ωのステレオヘッドホンを接続し、ミキシングの状態をモニターしてください。

リアパネル



16 INPUTジャック

電気楽器や電子楽器等を接続するジャックです。マイクロホンは、LINE/MIC切換スイッチ⑰を持ったチャンネル1または2へ接続してください。

※LINE/MIC切換スイッチは、リアパネルにあります。

17 LINE/MIC切換スイッチ

チャンネル1および2に設けられたスイッチです。接続した機器の種類(出力レベルの大きさ)に合わせて切り換えてください。電気楽器や電子楽器、一般オーディオ機器を接続した場合はLINE側、マイクロホンを接続した場合はMIC側です。

※LINE/MIC切換スイッチの切り換えおよびフロントパネルのPADスイッチ①の設定により、チャンネル1および2のINPUTジャック⑱の規定入力レベルと適合インピーダンスは、次のように変わります。なお、チャンネル3～8についてもここでご紹介します。

チャンネル	LINE/MIC切換スイッチ	PADスイッチ	規定入力レベル	適合インピーダンス
1,2	LINE	OFF	-20dB	600 Ω
		ON	0dB	
	MIC	OFF	-50dB	150~600 Ω
		ON	-43dB	
3~8	/	OFF	-20dB	600 Ω
		ON	0dB	

18 AUX SENDジャック

ディレイマシンやリバーブマシンなどのエフェクターへ、各チャンネルの信号を送り出すジャックです。

規定出力レベルおよび適合インピーダンスは、-10dB/10 kΩです。

19 AUX RETURNジャック

外部のエフェクターで得た効果を、ステレオで入力できるジャックです。

規定入力レベルおよび適合インピーダンスは、-20dB/600 Ωです。

20 IN/OUT切換スイッチ

⑱のSUB IN/OUTジャックを、SUB INジャックとして働かせるか、SUB OUTジャックとして働かせるか、選択するためのスイッチです。

21 SUB IN/OUTジャック

⑳のIN/OUT切換スイッチの切り換えにより、各ジャックの働きが次のように変わります。

☆スイッチをIN側にセットした場合……………

●L, Rジャック

このジャックへ入力した信号は、各チャンネルのSTEREO L, R信号とミックスされて、STEREO OUT L, Rジャック/コネクタ⑳へ出力されます。つまり、PA用のパワーアンプ等へ送られます。

●AUX 1, 2ジャック

このジャックへ入力した信号は、各チャンネルのAUX 1, 2信号とミックスされて、AUX SEND 1, 2ジャック㉑へ出力されます。つまり、エフェクター等へ送られます。

☆スイッチをOUT側にセットした場合……………

●L, Rジャック

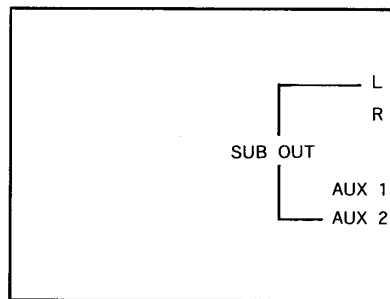
STEREO OUT L, Rジャック/コネクタ⑳に出力される信号と同じものが出力されます。なお、信号はSTEREOマスターコントロール⑨の前より取り出されるため、STEREOマスターコントロール⑨で出力レベルをコントロールすることはできません。

●AUX 1, 2ジャック

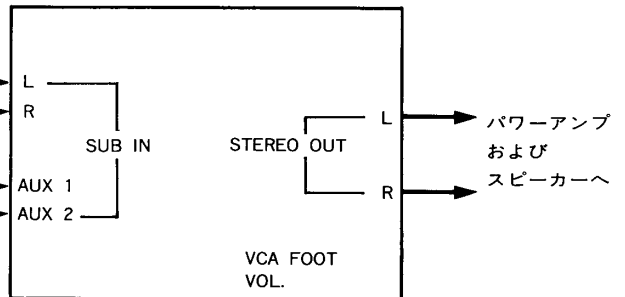
AUX SEND 1, 2ジャック㉑に出力される信号と同じものが出力されます。なお、信号はAUX SENDコントロール⑦の前より取り出されるため、AUX SENDコントロール⑦で出力レベルをコントロールすることはできません。

★このSUB IN/OUTジャックは、もう1台のMV802を用意して、チャンネルの増設を行なうとき非常に便利です。(合計16チャンネルとなります。) その場合下図のようにセッティングしてください。

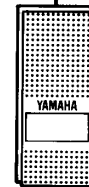
サブ用MV802



メイン用MV802



※メイン用MV802のFOOT CTRLスイッチをONにすると、サブ用MV802側の楽器も含めた、VCAコントロールが可能になります。



フットコントローラー FC7

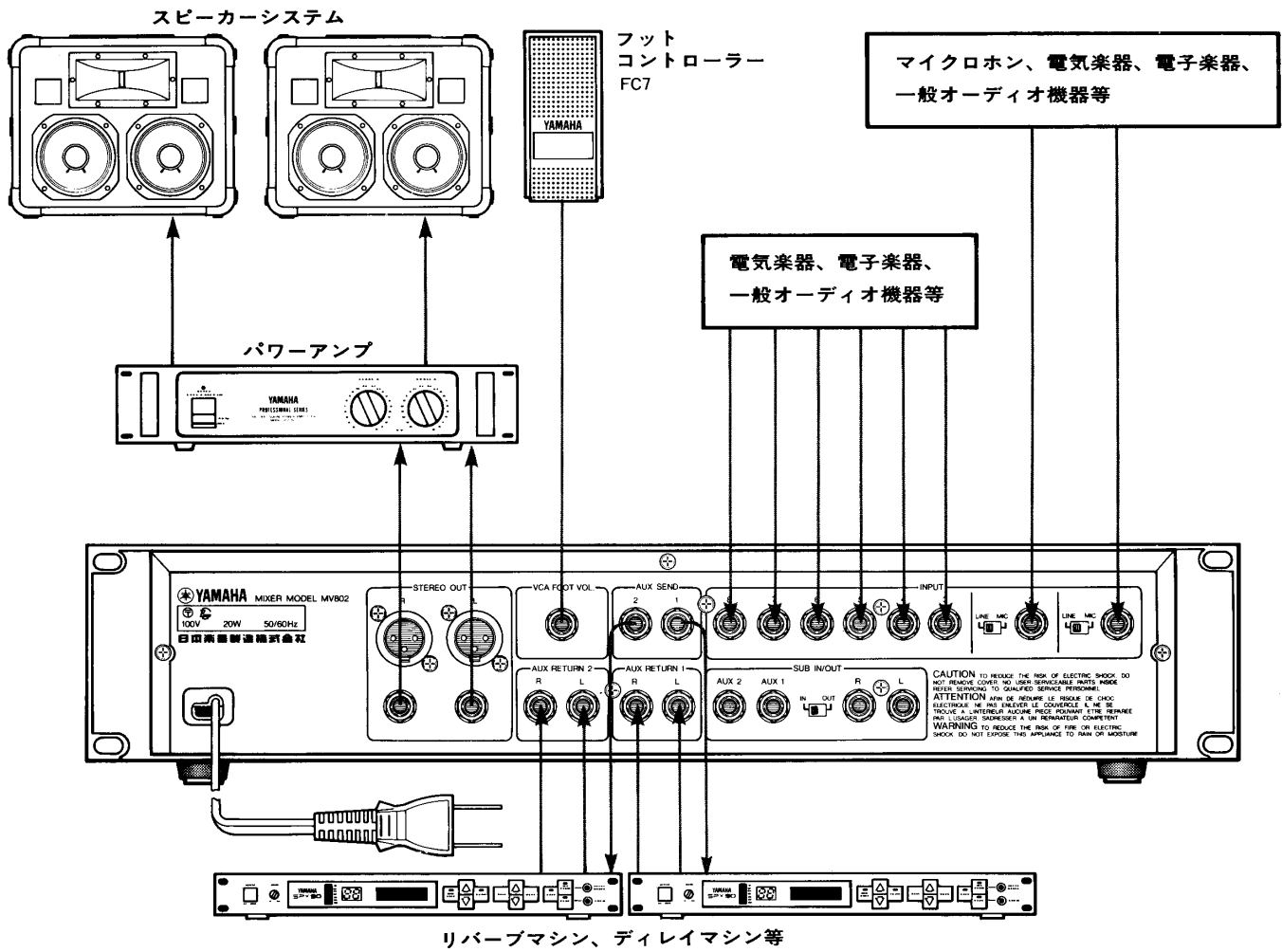
㉒VCA FOOT VOL.ジャック

STEREO OUTジャック⑳の出力レベルをフットコントロールする場合は、このジャックにフットコントローラー(FC7)を接続してください。その時、忘れずにフロントパネルのVCA CTRLスイッチをONにしてください。

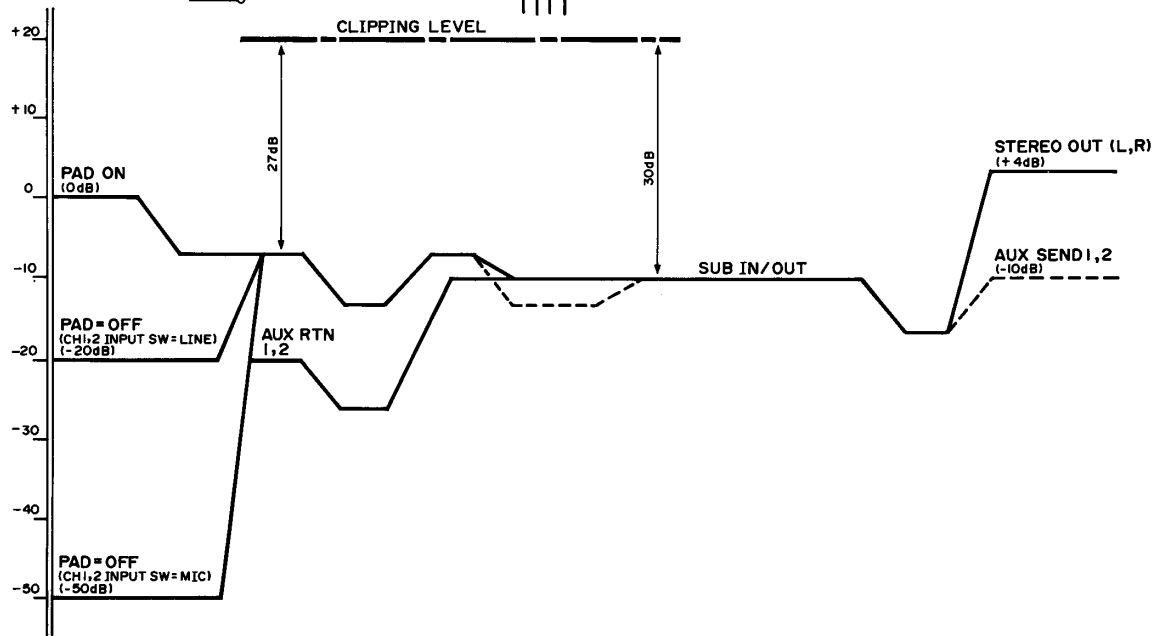
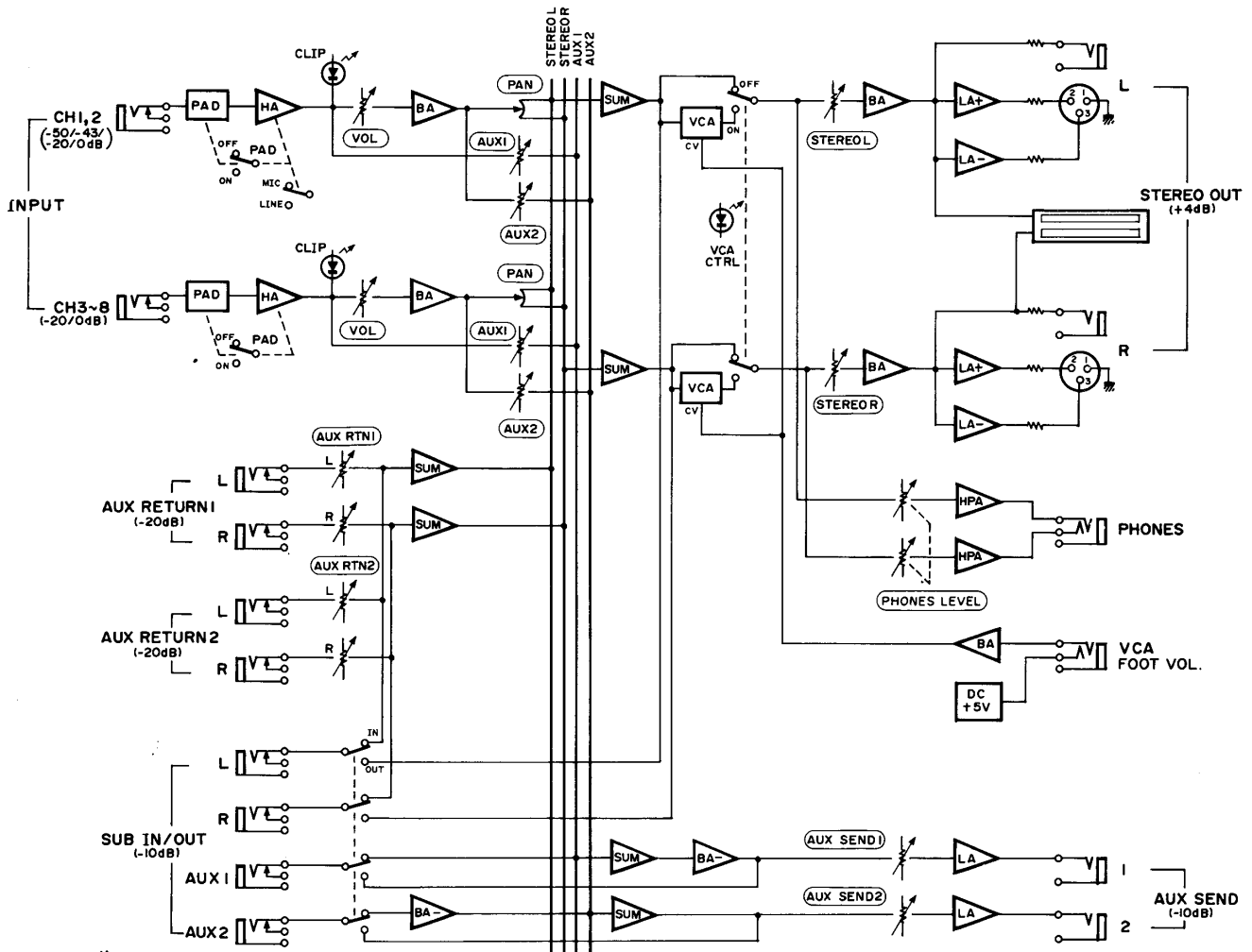
㉓STEREO OUTジャック/コネクタ

INPUTジャック㉑およびAUX RETURNジャック㉒から入力し、ミキシングした信号が出力されます。パワーアンプやキーボードスピーカーを接続してください。XLRタイプコネクタは平衡出力で、規定出力レベルおよび適合インピーダンスは+4 dB/600Ω、ホーンジャックは不平衡出力で、+4 dB/10kΩです。

セットアップ例



ブロック & レベルダイアグラム



仕様

周波数特性

STEREO OUT	20Hz~20kHz 0 \pm 1.5dB (@ +4dB)
AUX SEND	20Hz~20kHz 0 \pm 1.5dB (@ -10dB)

全高調波歪率 0.1%以下 (20Hz~20kHz、STEREO OUT、@+14dB)

ハム & ノイズ* (20Hz~20kHz、Rs=150 Ω)

入力換算ノイズ	-122dB (CH1,2 LINE/MIC切換→MIC)
STEREO OUT	-90dB (残留ノイズ)
	-72dB (STEREO マスター→ノミナル、全チャンネルVOL→最小)
	-68dB (STEREO マスター→ノミナル、チャンネル1 VOL→ノミナル、CH1または2 LINE/MIC切換→MIC)
AUX SEND	-100dB (残留ノイズ)
	-86dB (STEREO マスター→ノミナル、全チャンネルAUXコントロール→最小)

最大電圧利得

CH1,2 (MIC) INPUT→STEREO OUT	66dB
CH1,2 (MIC) INPUT→AUX SEND 1	52dB
CH1,2 (MIC) INPUT→AUX SEND 2	58dB
CH1,2 (MIC) INPUT→SUB OUT (L, R)	46dB
CH1,2 (MIC) INPUT→SUB OUT (AUX 1)	46dB
CH1,2 (MIC) INPUT→SUB OUT (AUX 2)	52dB
INPUT (LINE)→STEREO OUT	36dB
INPUT (LINE)→AUX SEND 1	22dB
INPUT (LINE)→AUX SEND 2	28dB
AUX RETURN 1,2→STEREO OUT	36dB
SUB IN (L, R)→STEREO OUT	20dB
SUB IN (AUX 1)→AUX SEND 1	6dB
SUB IN (AUX 2)→AUX SEND 2	6dB

VCA最大減衰レベル 78dB以下 (1kHz)

クロストーク (1kHz)

入力CH間	-60dB以下
入力CH-出力CH間	-60dB以下

CLIPインジケーター 各チャンネルのヘッドアンプにおいて、クリッピングレベルの3dB手前で点灯

バーグラフメーター STEREO OUTの出力レベル表示

VCA CTRLインジケーター VCA CTRLスイッチON時に点灯

電源	AC100V (\pm 15%)、50/60Hz
消費電力	18W
寸法 (W×H×D)	480mm×96mm×250mm
重量	4.1kg

* @12.7kHz、-6dB/oct. のLPFにて補正

● 0dB=0.775Vr. m. s.

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● ノミナルとは、最大レベルの6dB手前のことです。

■入力仕様

入力端子	MIC/LINE	PAD	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	感度** (最大ゲイン)	入力レベル		使用コネクタ
						規定レベル	最大ノンクリップレベル	
CH INPUT (CH 1, 2)	MIC	OFF	10k Ω	150~600 Ω マイク	-62dB (0.62mV)	-50dB (2.5mV)	-23dB (55mV)	ホーンジャック
		ON			-55dB (1.4mV)	-43dB (5.5mV)	-16dB (123mV)	
	LINE	OFF		600 Ω ライン	-32dB (19mV)	-20dB (78mV)	+7dB (1.74V)	
		ON			-12dB (195mV)	0dB (775mV)	+20dB (7.75V)	
CH INPUT (CH 3~8)		OFF	10k Ω	600 Ω ライン	-32dB (19mV)	-20dB (78mV)	+7dB (1.74V)	ホーンジャック
		ON			-12dB (195mV)	0dB (775mV)	+20dB (7.75V)	
AUX RETURN 1, 2			20k Ω	600 Ω ライン	-26dB (39mV)	-20dB (78mV)	+20dB (7.75V)	ホーンジャック
SUB IN (L, R, AUX 1, 2)			68k Ω	600 Ω ライン	-16dB (123mV)	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	ホーンジャック

■出力仕様

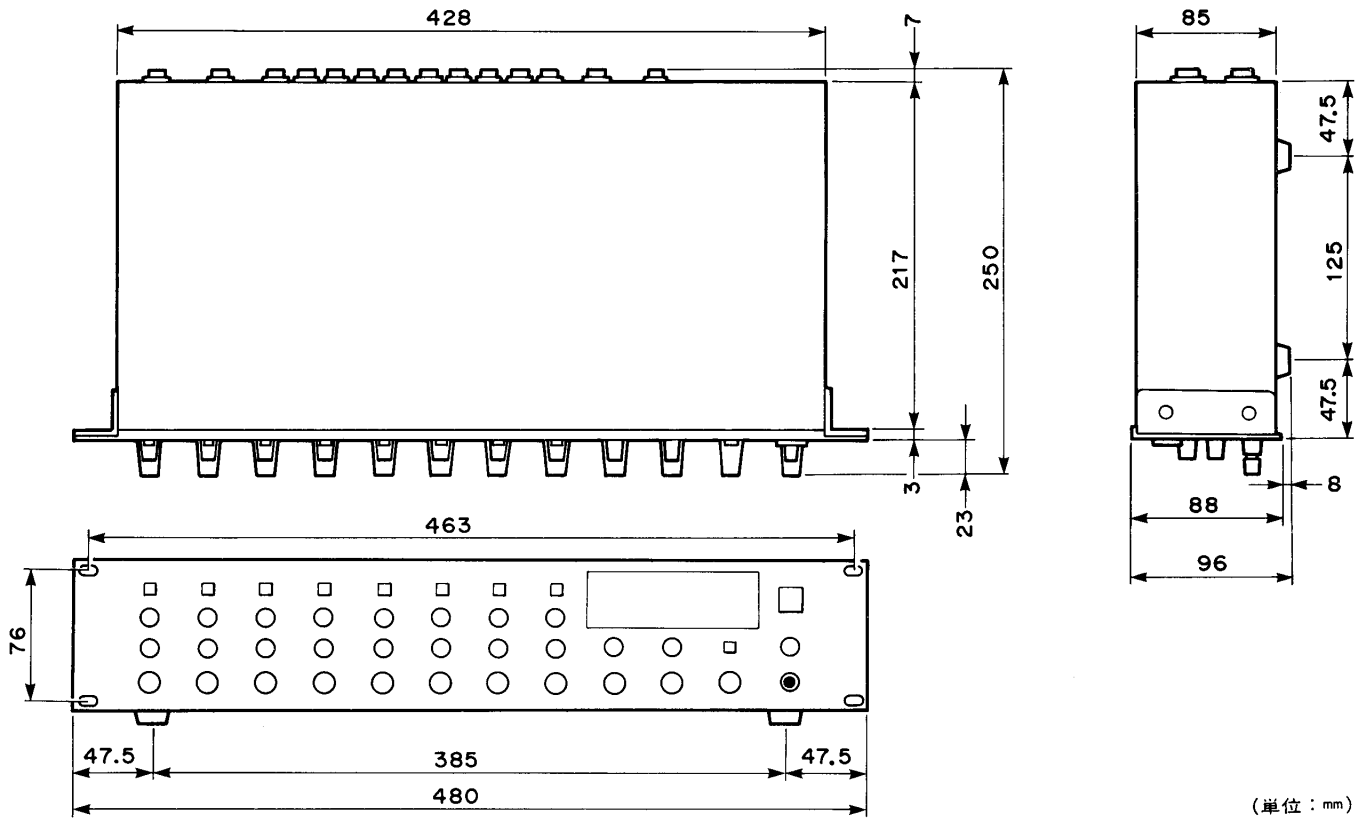
出力端子	出カインピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル		使用コネクタ
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
STEREO OUT	150 Ω	600 Ω ライン	+4dB (1.23V)	+20dB (7.75V)	XLR-3-31タイプ
	600 Ω	10k Ω ライン	+4dB (1.23V)	+20dB (7.75V)	ホーンジャック
AUX SEND 1, 2	600 Ω	10k Ω ライン	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	ホーンジャック
SUB OUT (L, R, AUX 1, 2)	600 Ω	10k Ω ライン	-10dB (245mV)	+20dB (7.75V)	ホーンジャック
PHONES OUT	100 Ω	8 Ω ヘッドホーン	-22dB (62mV)	-4.5dB (461mV)	ステレオホーンジャック

**感度は、規定の出力レベル (+4dB=1.23V) を得るために必要な入力レベルです。

● 0dB=0.775Vr. m. s.

● XLR-3-31タイプコネクタは平衡(バランス)、ホーンジャックは、不平衡(アンバランス)出力です。

寸法図



サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であつても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂たく場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (お客様ご相談窓口・お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーホールビル2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸龜町8-7(日本楽器高松店内) TEL (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目7(卸商共同配送センター3F) TEL (0222) 36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 63-1127
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-5195

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

日本楽器製造株式会社

本社	〒430 浜松市中区町10-1 TEL.0634(60)2431
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢鳥ビル6F TEL.03(574)8592
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL.03(572)3133
渋谷店	〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大塚ビル内 TEL.03(476)5571
池袋店	〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL.03(981)5271
横浜店	〒220 横浜市西区南幸2-15-13 TEL.045(311)1201
大阪支店	〒542 大阪府南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)5231
心斎橋店	〒542 大阪府南区心斎橋筋2-39 TEL.06(211)8333
梅田店	〒530 大阪府北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル TEL.06(345)6552
神戸店	〒651 神戸市中央区元町通2-7-3 TEL.078(391)7652
高松店	〒760 高松市丸龜町8-7 TEL.0878(51)7777・(22)2678
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5145
名古屋店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5154
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2155
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL.092(721)7621
福岡支店	〒810 福岡市中央区天神1-10-13(天神東急プラザビル) TEL.092(752)0625
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/ヤマハセンター TEL.011(512)6113
札幌店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/ヤマハセンター TEL.011(512)6124
仙台支店	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL.0222(22)6146
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL.0222(27)8516
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3744
広島店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(248)4515
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL.0534(54)4077

